

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和7年1月・2月号

3学期が始まりました！

新しい年を迎え、冬休みを終えた子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。今週から、ステップ教室の指導も始まりました。

3学期は、学年のまとめの時期であるとともに、進級や進学への準備をしていく期間です。新年度への期待や希望の一方で不安な気持ちも高まることがあります。複雑な気持ちが落ち着かない行動となって表れることもあります。一見すると希望に満ち溢れて意欲的に取り組んでいるようでも、がんばり過ぎてしまい、ある時突然疲れが出てしまうケースもあります。子供たちの複雑な思いに寄り添い、良い状態で年度末を過ごして進級や進学を迎えられるように支援していきたいと考えております。

3学期もどうぞよろしくお願いいたします。

★個人面談、ありがとうございました。

2学期末の個人面談では、お忙しい中、時間をつくっていただきありがとうございました。面談でお話した内容を基に、3学期の学習内容を計画していきます。ご心配やご質問等ございましたら、遠慮なくお知らせください。

1・2月の学習予定

- ・冬休みすごろくトーク
- ・さいころトーク
- ・協力福笑い
- ・ぼうずめくり
- ・かるた
- ・なわとびチャレンジ
- ・協力ハンドベル
- ・友達から見た自分
- ・ステップ教室紹介づくり
- ・巨大折り紙
- ・ボッチャ など ※グループによって内容が変わります。

3学期の予定

1月14日（火） 指導期間
～3月10日（月）



※3学期の指導期間の最後の週、3月4日（火）～3月10日（月）は、お子さんの指導回数によって指導がない場合もあります。ご承知おきください。

3月11日（火）
～17日（月） ステップ教室 個人面談

ステップ教室保護者学習会

12月23日(月)にステップ教室の保護者学習会が開催されました。ご参加くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。当日は、明星大学心理学部心理学科教授の竹内康二先生に、「学校や家庭で気になる児童の行動から～なぜ?どうしたらいい?」という題でご講話をいただきました。子供の言動についてどのように考えればいいのか、どのように向き合えばいいのか、大きなご示唆をいただきました。

○視点の違いで見え方が変わる

- ・同じものを見た人が違うことを言う対立する。
- ・相手の立場に立って、どう体験させるかが大事。
- ・一見不適切(アウト)に見えるが、視点を変えると適切な努力と考えられる行動(ギリギリセーフの行動)がある。・・・(例)おもちゃを人にぶつけるのではなく、壁にぶつける。一見悪く見える行動が悪いと言うわけではなかったりする。
⇒子供の立場でどう思ったかを想像し、小さな努力を話し合い、認め、適切な努力を増やしていく。

○2種類の注目行動

- ・「注意引き」は、わがままではなく、子供の生存本能が促す行動(赤ちゃんの泣く様子)
- ・肯定的注目:褒める・認める・笑顔・接近・ハイタッチ・傾聴・要約
否定的注目:注意・質問・叱る・怒鳴る・説教・溜息・眉間にしわ
- ・好ましい行動 : 肯定的注目
好ましくない行動:注目を取り去り、好ましい行動を待って褒める
危険な行動・許しがたい行動:制限・ペナルティを設ける・・・長くやるのはよくない。考えるきっかけを与える。(長すぎると逆切れして考えられない。)
- ・子供に望んでいることは「迷惑をかけない」ではないはず。「〇〇しない」という望みは、どんどん活動をやめさせていくことになる。
- ・自己理解を進め、「人の評価」でなく、「自分の評価」で生きていく。
「あなたは、こんなことが得意なのね。」その中から自分で選んでいけるようになる。

○肯定的注目のコツ・・・できないことに注目しすぎない。

①驚きを伝える

子供の成長に対する驚きを伝える・・・認めてもらえた喜び

②結果よりも努力や挑戦を重んじる・・・◎「挑戦するのが大事だから。」

△「結果がでなきゃ意味がない。」とは絶対に言わない。

③先褒め

以前の活躍を褒める・事前の準備を褒める・・・「ちょっとやろうかな」という気持ちになる。

④25パーセントルール

活動が終わったときよりも、4分の1ぐらい終わったタイミングで褒める

・・・ちゃんとできているうちに褒める・最後まで待たなくていい。

⑤傾聴と要約

子供の話を聞いて、「つまり、〇〇ってこと?」と要約する。

・・・自分の考えを分かってくれる人だと捉え、考えを言うようになる。

※最後に、実際に2人ペアで傾聴と要約を体験し、安心して話せることを実感しました。